

平成24年度第1回千葉市都市局指定管理者選定評価委員会スポーツ部会議事録

1 日時：平成24年7月11日（水） 午前9時30分～午後0時05分

2 場所：千葉市役所議会棟 第3委員会室

3 出席者：

(1) 委員

善積 康夫委員（副部長）、谷藤 千香臨時委員

(2) 事務局

(都市局)

鈴木都市局長

(公園緑地部)

岡田部長

(都市総務課)

豊田課長、内海課長補佐、村上総務係長、日野主任主事

(公園管理課)

高山課長、江波戸課長補佐、中臺係長、志村主査、仙田主任主事、堀主任主事、

高橋主任主事

4 議題：

(1) 副部長の選任について

(2) 千葉マリスタジアム（QVCマリフィールド）の年度評価について

(3) 千葉市蘇我球技場（フクダ電子アリーナ）及び千葉市蘇我スポーツ公園多目的広場（フクダ電子スクエア）の年度評価について

(4) 千葉市蘇我スポーツ公園庭球場（フクダ電子ヒルスコート）の年度評価について

5 議事の概要：

部長の欠席に伴い、部会委員の互選により副部長を選任した。

平成23年度指定管理者評価シート、平成23年度事業計画書、平成23年度事業報告書及び指定管理者財務諸表をもとに、都市局指定管理者選定評価委員会による評価を受け、当該指定管理者による施設管理運営のサービス水準の向上、業務効率化の方策、改善を要する点及び当該指定管理者の倒産、撤退等のリスクの把握について、都市局指定管理者選定評価委員会から意見を聴取した。

(1) 副部長の選任について

部会委員の互選により、善積委員が副部長となる。

(2) 千葉マリスタジアム（QVCマリフィールド）の年度評価について

ア 指定管理者 株式会社千葉ロッテマリーンズ

イ 部会の意見

(ア) 来場者や利用者からのアンケートによるモニタリングは、以前に比べると工夫されていることが伺われた。

しかしながら、来場者数に対するサンプル数がまだまだ不足しており、その手法

については引き続き改善することを望む。

(イ) プロ野球等への来場者サービスだけではなく、市民が利用する市民球場として、その利用者へのサービスについても充実されるよう工夫されたい。

(ウ) 当該指定管理者の財務状況は、対前年度との比較で悪化が見られるので改善が必要である。

(3) 千葉県蘇我球技場（フクダ電子アリーナ）及び千葉県蘇我スポーツ公園多目的広場（フクダ電子スクエア）の年度評価について

ア 指定管理者 シミズオクト・東洋メンテナンス共同事業体

イ 部会の意見

(ア) 利用者サービスの向上を図るという積極的な姿勢がみられ、地域に密着した自主事業など、良好な管理運営が行われていると考える。

(イ) アンケートによるモニタリングも積極的に行われているが、フィールド利用者だけでなく、諸室の利用者に対しても積極的に実施するよう求める。

(ウ) 自主事業の中には、実績として下降しているものもあるため、さらなる成果を目指してもらいたい。

(エ) 当該指定管理者の財務状況は、両社とも損益の状況、財務の安全性ともに良好と考えられる。

(4) 千葉県蘇我スポーツ公園庭球場（フクダ電子ヒルスコート）の年度評価について

ア 指定管理者 シミズオクト・東洋メンテナンス共同事業体

イ 部会の意見

(ア) 施設の管理運営にあたり、利用実績が目標を大幅に下回っていることから、利用促進を図ることが緊急の課題である。

(イ) 自主事業のテニススクールについても、広報や勧誘方法等、利用が増えるような改善を望む。

6 会議経過：

○事務局 定刻となりましたので、只今より平成24年度第1回千葉県都市局指定管理者選定評価委員会スポーツ部会を開催させていただきます。

本日の会議でございますが、部会委員3名のうち2名の委員の皆様にご出席をいただいておりますので、千葉県公の施設に係る指定管理者の選定等に関する条例第10条第2項の規定により、本会議は成立しております。

開会に当たりまして、鈴木都市局長からごあいさつ申し上げます。

○都市局長 都市局長の鈴木でございます。

本日はお忙しい中、また大変暑い中をご出席賜りまして、まことにありがとうございます。

また、日ごろから、都市行政及び市政各般にわたりまして、ご支援、ご協力をいただいておりますことを心より感謝を申し上げます。

本日、この評価委員会スポーツ部会においては、本市の施設、4施設についてご審議をいただくことになるわけでございますが、本市が指定管理者制度をスタートいたしまして、23年度からがいよいよ2期目のスタートを切ったところでございます。本日、評価いただくのは、その23年度の運営が中心になるかと思っております。

この指定管理者制度そのものを本格的に行政が導入し始めて6年で、今度7年目になっ

たわけですけれども、いろいろと施設運営上、市民の皆さんのサービス向上や効率的な運営という制度のそもそもの目的に合致するように、私どもも日々指定管理者とともに運営を注視して配慮していきたいと考えておるところでございますが、委員の皆様はその内容について、今日いろいろとご評価をいただいて、ご指示などをいただければと考えております。

本日は、QVCマリフィールド、フクダ電子アリーナ、それとフクダ電子スクエア、フクダ電子ヒルスコートと、この4つの施設をそれぞれご評価いただいております。

何とぞ、よろしくご審議のほどお願いいたします。

○事務局 鈴木都市局長につきましては、本日所用がございましたため、これをもちまして退席とさせていただきます。

○都市局長 それでは、よろしくお願いいたします。

(鈴木都市局長退席)

○事務局 それでは、議事に入る前に、会議の公開及び議事録の作成についてご説明いたします。

お手元の資料3、千葉市都市局指定管理者選定評価委員会の会議の公開及び議事録の作成等についてをごらんください。

本日の会議は、1、会議の公開の取扱いの(1)のとおり公開しております。

また、議事録につきましては、2、議事録の確定の(1)のとおり、事務局が作成した案に対する会長の承認により確定するということになっております。

なお、傍聴者の皆様にお願ひ申し上げます。

傍聴に当たりましては、お手元の資料の4、傍聴要領に記載された事項をお守りいただきますようお願いいたします。

それでは、これより議事に入らせていただきます。

本日は、健康上の理由により、急遽鈴木部会長がご欠席でございます。そのため、議事の進行を副部会長に行っていただくこととなります。

つきましては、副部会長を選出までの間、豊田都市総務課長に議事の進行をお願いいたします。

○都市総務課長 都市総務課の豊田です。よろしくお願ひいたします。

では、副部会長選出までの間、恐縮ではございますが、スポーツ部会の進行を務めさせていただきます。よろしくお願ひします。

それでは、お配りしてあります資料の5でございます。5の2枚ほどめくっていただきますと、千葉市公の施設に係る指定管理者の選定等に関する条例の第11条、その中の4項の規定に、部会に部会長及び副部会長を置き、部会に属する委員及び臨時委員の互選により定めることとなっております。今、説明がありましたとおり、鈴木部会長がご病気で、この開催の日を少し後にずらしても出席ができないということで、今日の開催になったわけでございます。また、鈴木部会長を選任したときに、本来であれば、今申し上げました11条4項により副部会長を選任しておくべきところであったわけでございますけれども、未選任でございますので、本日、両委員にご協議の上、副部会長を選任していただきまして、副部会長により、議事の進行をお願いしたいと考えております。

それでは、両委員、ご協議のほうをよろしくお願ひしたいと存じます。

○谷藤委員 善積委員、お願ひできればと思います。

○都市総務課長 ご了解いただけますでしょうか。

○善積委員 はい。

○都市総務課長 それでは、ただいま協議のとおり、副部会長は善積委員に決定されました。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、ここからは同条例の第11条6項の規定によりまして、善積副部会長に議事の進行をお願いいたします。よろしくお願いいたします。

ありがとうございました。

(善積副部会長、副部会長席に着席)

○副部会長 善積でございます。鈴木部会長の代理として、本日のスポーツ部会の議事を進行させていただきます。

会議を円滑に進めてまいりたいと存じますので、よろしくお願いいたします。

それでは、早速、本日の議題の2、千葉マリスタジアム(QVCマリスタジアム)の年度評価に入ります。

初めに、事務局より報告をお願いいたします。

○公園管理課長 公園管理課長高山でございます。

まず資料6-1でございます。指定管理者評価シートの5ページにわたっておりますが、まず、このうちの1ページの基本情報から3ページの4、指定管理者による自己評価までについて説明させていただきます。

1、基本情報、施設名、千葉マリスタジアム。

指定管理者、株式会社千葉ロッテマリーンズ。

指定期間、平成23年4月1日から平成28年3月31日まででございます。

2の管理運営の実績、(1)主な実施事業。

まず、①の指定管理事業は、施設利用受付業務、施設維持管理業務、清掃業務、保安警備業務でございます。

②自主事業につきましては、飲食の物販、施設見学ツアー、広告看板でございます。

(2)利用状況。

①利用者数。平成23年度173万2,750人、平成22年度192万9,140人、前年度比としまして89.8%、平成23年の目標値は200万人でございましたので、達成率は86.6%でございます。この原因は、東日本大震災の影響と、昨年度のロッテの成績が振るわなかったためと考えております。

②稼働率。平成23年度92.5%、平成22年度79.8%、対前年度増減12.7%。平成23年目標値80%で、対目標値の増減としまして12.5%の増でございます。

次ページをお願いいたします。

(3)収支状況。

①収入実績。決算額21億7,285万円でございます。計画額が24億110万円でございます。計画比として96.5%でございます。指定管理委託料横線になっておりますが、この指定管理業務につきましては、市から指定管理者へは委託料の支出はございません。

②支出実績。決算額19億5,981万7,000円、計画額20億6,375万5,000円、計画比95%でございます。これは、人件費の減で、1名減によるものでございます。

③収支実績。決算額2億1,303万3,000円でございます。計画額が3億3,734万5,000円でございますので、対計画額の増減としまして1億2,431万2,000円でございます。

(4)指定管理者が行った処分の件数。

処分状況は、使用許可が1,187件でございます。

(5)市への審査請求、これはございませんでした。

(6)情報公開の状況としまして、文書開示申し出の状況としまして、開示請求が1件ございました。球場内設置自販機に関する売り上げ実績及び契約内容についてでございま

す。

次、3ページ目でございます。

3、利用者ニーズ・満足度等の把握。

(1) 指定管理者が行ったアンケート調査の結果。

①アンケート調査の実施内容としまして、利用者アンケートとしまして、一般貸し出しの際、球場を利用しました利用者へアンケートを依頼しております。149団体が利用しまして、149団体から回答を得ております。利用者の居住市町村、年齢層、利用施設の内訳、グラウンドの状況、利用料金、スタジアムの利用方法等を何で調べたか、あるいは利用回数、要望等について質問項目を設定しております。さらに、今年度から、来場者アンケートということで、野球を観戦に来た方たちに対してアンケート調査を行いました。回答者は205件、これは500枚アンケートをお願いしたのですが、回答が205件ございました。質問項目は年齢層、居住市町村、係員のサービス、ゴミ箱の設置状況、売店の飲食施設のメニュー、バリアフリー、利用回数、要望等でございます。

それぞれの結果につきまして、利用者アンケートでは149団体からグラウンドコンディション、利用時間、利用料金に関する主だった不満はございませんでした。リピーターが増加しているので満足度は得られていると評価しております。

来場者アンケートにつきましては、係員のサービス、ゴミ箱の設置状況、売店等飲食施設のメニュー、バリアフリーに関する主だった不満はやはりございませんでした。評価としまして、総合的な満足度としまして、全体的に利用者の満足度は高く、良好な管理状況と評価しております。

③アンケートにより得られた主な意見、苦情とそれへの対応といたしまして、利用者アンケートにつきましてはトイレが汚いということがございました。試合中は、次々と利用者をご利用されます。中にはトイレを汚す方がおりますが、利用時間が休憩時間と交代時間に集中しますので、そのときになかなか清掃が入れないということがございまして、すぐの対応が非常に難しいのですが、清掃員の定期的な巡回を強化して対応しております。

来場者アンケートにつきましても、やはりトイレが汚い、あるいはゴキブリ対策をしてほしいという要望がございまして、清掃員の定期的な巡回を強化したほか、ゴキブリに対しましては、駆除の専門業者に委託し、毎月薬剤散布を行っております。

(2) 市に寄せられた意見、苦情。

①意見、苦情の収集方法としましては、市長への手紙で2件ございました。平成24年4月以降の受動喫煙対策についてと、喫煙所の全面撤去に向けて削減・移設についてどう対応しているかということでございます。

回答としまして、来場者の中には、喫煙者も多くおり、球場の構造や周知期間等を考慮すると、直ちに建物内禁煙をすることは難しい。今後、千葉ロッテマリーンズと協議を行いながら、当面の間は球場内での分煙に向けて取り組むという回答をしております。

4、指定管理者による自己評価でございます。

事業計画内容の達成状況と利用者意見による評価でございます。

管理運営については、条例、管理規則及び管理運営の基準に基づき、利用者及び来場者とも満足度を満たす水準での業務を行うことができた。特に、来場者の利便性の向上のため、観客席や通路のサインの更新や追加などを工夫しました。

23年度の特徴における評価。

東日本大震災の影響により、本来はクリネックススタジアム宮城での3月にプロ野球が開幕するはずでしたが、4月12日に当球場での開幕となりました。当球場も、球場そのもの及び周辺が東日本大震災で大きな被害を受けておりましたが、市、県の指導と強力なバツ

クアップのもと、周辺の交通機関やインフラの復旧・復興に向け、関係機関と連携し、精いっぱい準備を整えたというところがございます。

○副部長 ありがとうございます。

それでは、ただいまの事務局の報告に対しまして、項目ごとにご意見を伺いたいと思います。

指定管理者評価シートの1ページの2の管理運営の実績から、3ページの3の利用者ニーズ、満足度等の把握、それから4の指定管理者による自己評価、以上の内容について、ご意見、あるいは確認をしたいということがございましたらお願いしたいと思いますが、いかがですか。

○委員 大きく2つほど、まずは質問ということでお願いしたいのですが、まず初めに震災の影響があった中、非常にいろいろな取り組みをやられていたので、その部分は評価していいのではないかなと思っています。その中で、利用者数が減ったということは、震災の影響もあったということでしたが、稼働率が上がっている中で利用者数が減っているところの説明が指定管理者からあったかということと、あわせて、利用者数が減ったということが、野球の成績というお話でしたが、そうすると、成績が振るわないと、利用者数もいつも少なくなってしまうので、それ以外の理由について話があったかという利用者数絡みのことが一つ。もう一つは、来場者アンケートを昨年度実施されたということで、これはぜひやっていただきたかったことなのでよかったのですが、どのようにやったのか、分からなかったので、時期等を含めて、説明いただければと思います。

○副部長 はい。

○公園管理課長 利用者数でございますが、試合の数としましては、22年度、23年度、同じく実施しておりますので、東日本大震災の影響と申しましたのは、市全体の施設についていえたことなのですが、去年はやはり市民、県民、ファンの方の少し出不精になったと言いますか、動きがぶくて全体的に各施設の利用者の数が減っております。そういった影響を受けたと思われるということと、あと昨年度、非常にもう中盤から終盤に向けて、成績がずっと低迷しておりましたので、一試合当たりの入場者のほうが、やはり減ってしまいました。これは、なかなか指定管理者の努力だけでは何ともしがたいところでございますが、利用者の減少については、PRが悪かったとか、そういったわけではなく、自然災害及び成績に影響されたものと考えております。

あと稼働率でございますが、個々の施設の稼働率を見ておまして、まず、この施設につきましましては、興業者としてのロッテの試合以外に、一般の方々、あるいは高校野球、社会人野球等の利用がございます。そういった利用が増えておまして、稼働率そのものは向上しております。

あと、来場者アンケートでございますが、これにつきましましては、12月3日の千葉ロッテマリーンズのファン感謝デーと、今年の3月の巨人とのオープン戦のときに2回実施しております。質問項目につきましましては、先ほど説明した内容のとおりでございますが、利用されたお客様の性別、年齢、お住まい、あと逆に指定管理者のほうで聞いたかったのが、係員のサービスの程度、ゴミ箱の設置状況、売店の飲食店メニュー、あと本施設のバリアフリーの状況、あとイベントとか、試合の状況について、何で知って来場されたかということ、何回来られたことがあるかということについてお聞きしております。

その中で、性別でございますが、男性が55%、女性が45%、年齢層についても、30代から40代が合わせて50%、それ以外につきましましては、各年齢層に分かれております。係員のサービスにつきましまして、悪いと答えた方が5%、大変悪いと答えた人も5%、その他、大変よい、よいが38%、普通と答えた人が50%でございます。

ごみ箱の設置状況についても、もう少しあったほうが良いという意見がございました。

あと売店につきましては、60%の方が大変満足、あるいはまあまあ満足でございます。やや不満という方が13%でございました。

あとバリアフリーにつきましても、若干不便を感じると答えた方が23%おりました。そういうことを踏まえまして、完全なバリアフリー化の対応はまだ難しいのですが、手すりだとか、案内表示を強化しております。

あと、その他自由意見という中では、やはりトイレとゴキブリの発生についての苦情がございました。

以上でございます。

また、最初の利用者の減の170万に減った理由の中で、去年は、節電の関係がございまして、ナイターを減らしまして、平日の昼間の試合が多かった関係で、それもお客様の減少の原因と考えています。

アンケートにつきましては、ペーパーをお配りしております。両方で500枚配りまして、205枚回収しています。

○委員 入口配布、ボックスで回収とか。

○公園管理課長 回収はボックスでございますが、お配りしたのは手渡しでお願いしております。

○副部長 よろしいですか、追加で何か。

○委員 お答えありがとうございました。

ナイターというのは忘れていまして、やむを得なかったかなと思いましたが。震災絡みのことに関してはもちろん仕方がないとは思いましたが、野球の成績自体は、現実的には仕方がない部分もありますが、成績が悪くから入場者が少なくなってしまうところを、成績とリンクしない形で何かしなければいけないということが問題点としてはあると思います。結果等が出ていますので、今後に向けては成績が振るわなかったという理由とならないように、今後考えていただきたいと思います。

それから、稼働率も、確かに一般開放ではそんなにたくさんの方が入らないので、数字的には納得がいったのですが、表記の際に分けてもらえるとイメージが付きやすいと思いました。

それから、アンケートの件ですが、これまでやっていなかったのも、まずやっていただいたということで、一つステップとしては踏んだとは思いますが。サンプルは、もう少しとってもいいのではないかなと思います。また、会場で手渡しして回収という方法で、得られたマイナス評価というのは、かなり強い要望だと思いますので、その辺を受けとめてもらえるといいなと思います。実際には、実施時期が割と後半のほうで、利用者アンケートをなぜとるかという、改善していくということですので、もちろん今年度にはそのことは生かされていると思うのですが、年度の中で改善が見える形になるように、前半のほうでも実施していただけるようになるといいなと思います。

かなり個人的ですが、冬場にゴキブリの対策をしてほしいと出たのは、非常にショッキングですが、ぜひここは受けとめてもらいたいなと思います。

○公園管理課 公園管理課の志村といたしますが、座ったままで失礼いたします。

アンケートの件ですが、去年、来場者アンケートについて意見をいただいております。指定管理者とその来場者アンケートについてどのようにするかという話をいたしました。そして、マリーンズの成績が悪くて、シーズンがすぐ終わってしまいましたので、どうしても昨年度中に実施できる時期が、どうしても冬場とオープン戦という時期になってしまいました。それで、今年度につきましては、その2回の反省を踏まえまして、今年度1回

目も、紙を配布するという同じようなやり方ですとなかなかサンプルが集まらないということで、夏休み期間中に対面調査で1回やってみようということで、いろいろな方法について検討を進めておりますので、来年、それについてご報告させていただきたいと思ます。よろしくお願ひします。

○委員 はい、よろしくお願ひいたします。

○副部会長 よろしいですか。

○委員 はい

○副部会長 それでは、私から確認したいことは、稼働率のところですけども、これは利用可能日数を母数にして、どれだけの日数の利用があったか、それで算出しているということですかね。

○公園管理課長 はい。366日の中から利用不可能な日にちを差し引きまして、利用された日を分子にしまして計算しております。

○副部会長 そうすると、日数でいうと増えたのだけれども、1日当たりの利用者数というのが減っているから、全体の利用者数は減っているという、そういうことですね。

○公園管理課長 はい。

○副部会長 はい分かりました。

それから、23年度の利用者数は173万2,750人となっていますが、後ろの資料だと6-3に事業報告書というのがあり、その29ページを見ると、管理施設の利用状況に関する事項の(1)の合計の入場者数が167万3,652人となっています。数字があわないのですが、これについてはいかがでしょうか。

○公園管理課長 本当は合計欄、一番上の表の合計欄がお読みした入場者数が167万3,000で、その前に利用者数ということで、これは施設の利用者数が5万9,000ほどございますので、この施設を利用した人と一般のお客様として入場した数を足しまして、173万2,750人ととらえております。

○副部会長 施設を利用した5万9,000人ですが、そのデータはどこかに出てはいないのですか。

○公園管理課長 同じく、この前の表に一般利用、イベント利用と分けて合計がありますが、それぞれに利用件数、利用者数、入場者数と3項目設けています。利用件数というのは、利用された件数、利用者数が、施設の利用者、入場者が、お客様として入った数でございます。

○副部会長 利用者数欄と入場者数欄を合計するということですね。はい分かりました。

それから、利用に関しては、何か事前予約みたいなことが行われて、それで抽選が行われるというようなことが書いてあります。最終的にどれぐらい利用したかという人数は、先ほどの実績で出てきているわけですけども、申し込みがどのぐらいあったのかという、もともとの人数というのはつかめているのですか。

○公園管理課長 申しわけございません。手元に資料を用意してございませんで、今お答えできません。後日その情報につきまして回答させていただきたいと思ます。

確かに、委員のおっしゃるとおり、アンケートの中で、一般利用者の方々につきましては、この球場は1面しかなくて、いろいろな団体の方たちが使いたがっております。市内にはいろいろな野球場をスポーツ施設として一般の市民には公開しておりますけれども、やはり人工芝の大きな球場の中でやれるというのは非常に利用者にとって感激の度合いが違うということはアンケートで答えられております。ただ、非常に倍率は高いということで、その枠を増やしてくれという要望もありますけれども、やはり一般の市民の方には、まずプロ野球の試合を楽しんでいただくと、それが70試合ございますので、それ以外のと

ころで土日なり、平日なりに楽しんでいただくということで、利用枠の増減はそんなには大きくは増やせないのですけれども、今年度につきましては、いろいろな工夫をした結果、稼働率が向上しております。

数字につきましては、分かり次第回答させていただきます。

○副部長 もととのニーズというのがどれぐらいあるのか、それが少し気になったので、確認のため質問させていただきました。

それから、利用料金の減免というのはされていると思いますけれども、内規というのは特に定めませんということが6-2、14ページのところに書かれております。次の施設のところでは、内規が確かあったように思いましたが、特に内規を定めないというのは何か理由があるのでしょうか。ルールを定めてあったほうが、それに従ってやるということでより運用が円滑になるように思うのですけれども。

○公園管理課長 6-3の31ページの表でございます。

指定管理者の運営及び管理の基準、これは指定管理者を選定する段階で市が示しているもので、31ページ一番上が減免利用状況でございますが、利用料金の減免につきましては、指定管理者を選定する段階で市が、このように定めております。

内規というと、逆に指定管理者のほうでさらに決めるということだと思いますが、市と指定管理者の間で定めたものをそのまま使っておるということでございます。

○副部長 はい分かりました。

私からは以上です。

それでは、3ページのところまで、ご報告いただいたということで、続きまして評価シートの4ページの5、市による評価について、事務局より報告をお願いいたします。

○公園管理課長 では、4ページの市による評価につきまして説明させていただきます。

市による評価で、履行状況の確認欄でございますが、その中に履行状況※2の印がございます。履行状況の評点についてですが、4ページのそれぞれの各項目の履行状況を確認しまして、3点というのは仕様、あるいは提案を上回る実績・成果があったという場合に3点にしております。仕様・提案どおりの実績・成果につきましては2点、仕様・提案どおりの管理運営が行われなかった場合には1点という評価でございます。

各この履行状況の確認の4ページについて説明させていただきます。

(1) 市民の平等な利用の確保、施設の適正な管理、関係法令等の遵守、個人情報保護の規定、管理につきましては、個人情報管理規程を策定し、方針を定め、内部教育等で徹底を図っています。2点でございます。

関係法令等の遵守、これは施設利用時の適切な手続ということで、予約から利用完了まで管理基準の要件に沿い、適切な手続や料金徴収を行っておりますので2点でございます。

モニタリングの考え方、利用者アンケートを実施しております。施設一般貸し出しのアンケートのほか、ファン感謝デーやオープン戦でも実施し、意見を収集したということで2点でございます。

施設の適正な管理につきましては、事業計画書、事業報告書の内容につきまして、管理運営基準に適合した計画書を作成し、計画に基づいた内容を実行した報告書を遅滞なく提出しておりますので2点でございます。

(2) の市民サービスの向上。

利用者サービスの向上、これは場内の案内表示の改善、4か国語、英語、韓国語、中国語、日本語で案内表示を行い、サービスの向上を図っております。2点でございます。

(3) 施設の効用の発揮、施設管理能力につきましては、まず、利用促進の方策としまして、広報・プロモーションの促進でございますが、インターネットの情報更新や施設パ

ンフレットを作成する等、広報活動に努めておりますので2点でございます。

自主事業の効果的な実施、これは、球団と管理者が同一である利点を生かしまして、球団にちなんだ物販や飲食メニューを企画し、利用者の好評を得ておりますので2点でございます。

プロ野球開催における施設管理能力、施設フィールドの維持管理、施設の老朽化等の修繕を行っております。これは2点でございます。

清掃、計画に基づき適切に行っておりますので2点でございます。

保安警備も、計画に基づき適切に行っておりますので2点でございます。

緊急・非常時対応、これは夏季の電力不足に伴う節電対策、ナイター照明の点灯数を2割減らし、コンコース通路照明の減灯、さらに自家発電の設備を導入いたしまして、昨年の節電に協力しておりますので、これにつきましては3点の評価を与えております。

(4) 管理経費の縮減。節減への取り組み、予算執行状況でございますが、全般的に経費節減に取り組んでおりますので2点でございます。

各項目の合計点は25点で、平均点は2.08点でございます。

このページの一番上に行きますけれども、評価としまして、これも5ページ目に評価の項目の説明がございます。Sというのが仕様・事業計画を越える実績・成果が認められるなど、管理運営が特に良好に行われていた場合にはS。

仕様・事業計画どおりの実績・成果が認められ、管理運営が良好に行われていた場合にはA、仕様・事業計画どおりの実績が認められなかった、改善を要する事項があったという場合にはBでございます。

球場の管理につきましては、市の評価はAでございます。

利用料金収入につきましては、計画を上回ったものの、自主事業については、震災による影響もあり計画を下回ったが、経費の節減により、支出総額が抑えられている点は評価できる。また、昨年夏は、全国的に電力不足が問題となったが、ナイター照明の点灯数を約2割減らし、さらにコンコース通路照明の減灯、自家発電を導入する等の節電に努めた。

おおむね、管理運営の基準及び事業計画どおりの実績、成果が認められておりますので、管理運営が良好に行われたと評価しております。

以上でございます。

○副部長 ありがとうございます。

それでは、ただいまの事務局の報告に対しまして、市による評価の部分ですけれども、ご意見等ありますでしょうか。

○委員 計画どおりにできたというところで、市としては合格という感じだと思うのですが、とりわけ、市として、市民に対してどんなきちんとしたサービスがなされていたかという観点で、全体的なところではなく、市民サービスというところで、どのように評価されているのかというところをお伺いしたいと思います。

○公園管理課長 この部分には細かくは書いてございませんけれども、ロッテは、千葉市や千葉県は基盤としております。それで、それらについて、選手が学校訪問をしたり、具体的に言えませんが、入学式だとか卒業式等に選手が行ったり、あるいは小学校を訪問していただくとか、そういったサービスのほか、ファンサービスとしまして、球場で写真撮影をしたりとか、そういったチャンスもつくっておりますので、市民に対して球団としてできるだけ行動は行っておると評価しております。

○委員 いろいろと、球団として学校訪問していたというのを忘れていたのですが、そういえばあったなと思い出しました。施設を一般の人が使うといったところでも、減免はあるみたいですが、要望がたくさんあってなかなか利用できないというところも、もしかする

と市民サービスの向上にプラスしてもらえよう要望してもいいのかなと思います。球団としての使い方のところでは、なかなか感謝デーとか県の千葉と市の千葉というところが分かりにくいのですが、市民として利益というか恩恵があるというところがもっと打ち出されるよう、現在の評価はAできちんと運営されているということですが、市民サービスの向上がSになるように要望点として大事ななと感じました。

以上です。

○副部長 それでは、私のほうから、市による評価の確認をさせていただきますが、緊急非常時対応という項目が入っていますけれども、これは、震災があったということで項目として追加されたということなのでしょうか。この項目というのは管理運営の基準に照らして設定されているわけですね。

○公園管理課長 この評価につきましては、指定管理施設ごとに必ずしも同じではないのであります。特にQVCマリフィールドにつきましては、非常に大きな施設で、去年は原子力発電所の休止に伴いまして2割近くの節電を、あそこは大きい施設で、国からも直接節電するよという指示が来ておりますけれども、運営に支障がない、要するに利用者が暗くてけがをするというようなのがもつてのほかでございますので、ともかく節電できるところを、ぎりぎりのところに調整してもらいました。さらに、自家発電を自己施設の中で動かしておりますので、そういった点も評価して3ということで評価しております。

○副部長 はい分かりました。

それでは、5のところまで説明していただいて、意見も幾つか出ましたので、次に、指定評価シートの6ページ、6の部分の都市局指定管理者選定評価委員会の意見ということで、何か述べるということになっておりますけれども、この部分についてはどうですか。ご意見やご助言などがございますでしょうか。

○委員 いくつか発言させていただいたとおり、運営自体は、マイナス面もなくされていたということですが、より利用者及び市民へのサービスが重視できるようにお願いしたいということで意見をいくつかプラスしていただけるといいかと思います。

○副部長 はい分かりました。

震災の中、ほぼ計画どおりの実績成果をあげています。利用者数は若干減っていますが、稼働率が上がっており、また収支状況の収入実績、支出実績の数字を見ても、ほぼ計画どおりの結果が出ているということなので、管理運営自体は良好に行われていたということでもよろしいですね。

ところで、事業計画書6-2の4ページのところに、基本的事項というのがあります。そのQVCマリフィールドの運営維持管理に関する基本方針の上から7行目のところに、「市民が利用する『市民球場』と市民が観て楽しむことができる『プロ野球のフランチャイズ球場』の両立こそが弊社の目指す指定管理者の姿であり」と書かれています。前の部分の市民が利用する市民球場という観点、今後はそちらをより充実させるような方策を考えていただければと思います。例えば、一般開放というのもそうでしょうし、イベントを充実させるということもあるでしょう。この点に関しましては、先ほどの委員のご意見と同じであると思います。

ということで、今、意見を整理させていただきましたけれども、項目ごとにいただいたご意見をまとめ、部会の意見といたします。なお、指定管理者評価シートに記載する具体的な文書については、当部会終了後に文言を洗練し、委員全員の合意が得られた後に確定させていただきたいと思います。

最後に、資料6-4の指定管理者財務諸表から見る当該指定管理者の財務状況についてですけれども、ここについて、私から若干意見を述べさせていただきたいと思います。

株式会社千葉ロッテマリーンズの貸借対照表と損益計算書が、2期にわたって資料としてとじられています。まず、損益計算書を見て分かるように、23年度は、当期純損失が計上されています。すなわち、最終損益は赤字ですが、前年度は黒字でした。

特に損益計算書の中の本業による利益といわれる営業利益ですが、この数字を22年度と比べてみると、22年度は4,000万円ぐらいの営業利益がありますけれども、23年度は1,700万円ぐらいになっています。減少した理由についてはこの資料だけだとよく分かりませんが、収益性の悪化が目立っており、そのことが気になりました。

次に、貸借対照表に関してです。もともと負債の額がかなり多いのですが、23年度に至って、また負債の額が少し増えているということで、資本構成も悪化しています。先ほどの損益の状況とともに、貸借対照表から見ることでできる財務の安全性についても、2期比較だけでも少し悪化してきているので、この点は、今後改善していただければいいのかなと思いました。

指定管理者の財務諸表を見た限りの簡単な意見ですけれども、以上です。

○公園管理課長 ありがとうございます。

○副部長 それでは、以上で、議題2の千葉マリスタジアム(QVCマリンフィールド)の年度評価を終わります。

続きまして、議題3、千葉市蘇我球技場(フクダ電子アリーナ)及び千葉市蘇我スポーツ公園多目的広場(フクダ電子スクエア)に入ります。

それでは、初めに、事務局より報告をお願いいたします。

○公園管理課長 7-1の指定管理者評価シートについて説明させていただきます。

1 ページ目、1、基本情報。

施設名、蘇我球技場・蘇我スポーツ公園多目的広場。

指定管理者、シミズオクト・東洋メンテナンス共同事業体。

指定期間、平成22年4月1日から平成27年3月31日。

2、管理運営の実績。

(1) 主な実施事業。

①指定管理事業は、施設管理運営業務、フィールドの維持管理業務、設備機器管理業務、清掃業務、保安警備業務でございます。

②自主事業は、飲食・物販業務、常設看板設置業務、スポーツスクール事業、イベントの企画、誘致業務でございます。

(2) 利用状況でございます。

①利用者数です。平成23年度は40万132名、平成22年度は36万8,164名、前年度比は108.7%。平成23年の目標値は38万1,000人、達成率は105%でございます。これは、先ほどと数字が逆で増えていますが、平成23年3月11日に地震がございまして、それ以降の試合が2試合ほど中止になっており、その試合が22年度分ですが、23年度の途中で昨年実施されております。なおかつ、Jリーグの試合は年内に終わるのですけれども、また今年3月に次のシーズン、この24年のシーズンですけれども、3月に試合が増えておりまして、トータルとして、前年度と比べると6試合、23年度の試合がたまたま増えてしまったという経過がございますので、利用者数の大きな増加があったということでございます。

②稼働率。まず蘇我球技場につきましては、平成23年度は33.4%、平成22年度が31.1%、対前年度増減2.3%、平成23年の目標が32%、対目標値増減が1.4%、これは先ほど説明しましたように6試合ほど増えた関係でございます。

あと、蘇我市スポーツ公園多目的広場、これは、球技場の隣にある人工芝のコート2面でございますが、平成23年度の利用率は67.8%、平成22年度が67.5%、対前年度増減とし

て0.3%の増加でございます。平成23年度の目標値としては68.5%でございますので、目標数値に対しては0.7%の減でございます。

2ページに移らせていただきます。

(3) 収支状況

①収入実績。平成23年度決算額は2億5,632万4,000円でございます。計画額は2億6,481万1,000円でございますので、計画比として96.8%でございます。

利用料金の減少でございますが、これはJリーグの平均入場者数の減少が影響しております。自主事業は多目的広場のスポーツスクール事業の利用者の減少による減でございます。

②支出実績。決算額は2億5,055万5,000円、計画額が2億6,052万3,000円、計画比としましては96.2%でございます。事務費は、節電などの各種節約やリース機械契約の統合による減でございます。自主事業は、人件費やイベント事業費の減によるものでございます。

③収支実績としまして、決算額は576万9,000円、計画額は428万8,000円でございますので、対比計画額に対する増減としましては148万1,000円の増でございます。

(4) 指定管理者が行った処分の件数、これは、施設の使用許可でございますが、2,597件でございます。

(5) 市への審査請求はゼロ件でございます。

(6) 情報公開の状況でございますが、市政情報室への開示請求が2件ございました。自動販売機の契約に関する事、契約書だとか、収支状況の開示でございます。もう1件につきましては、芝生の管理における害虫等の防除に関する事、管理仕様書につきまして開示請求がございました。

3、利用者ニーズ・満足度等の把握でございます。

(1) 指定管理者が行ったアンケート調査の結果でございますが、①アンケート調査の実施内容としましては、調査方法としまして、蘇我球技場は、イベント開催時に来場者、利用者にアンケートを実施しております。多目的広場につきましては、アンケートボックスを常設しまして、年間を通して利用者意見を収集しております。

イの回答者数は1,104名でございます。

ウの質問項目につきましては、性別、年齢層、居住市町村、利用した目的、接客、清掃美化、バリアフリー、使いやすさ、来場回数、行ってほしい催し、要望等についてでございます。②の調査の結果としまして、蘇我球技場では、観戦者551名、フィールド利用者が45名、多目的広場につきましては508名について回答を得ておまして、全体につきましては、諸室・フィールドの使いやすさについては良好な評価を得ております。

スタッフの対応としまして、接客対応については、好意的な意見が多く、良好な評価を得ております。

清掃状況については、多目的広場の雨天時のトイレや通路の汚れについて意見がありましたが、全体的には良好な評価を得ております。

総合的な満足度としては、施設利用者の満足度は高いものと考えております。

③アンケートにより得られた主な意見、苦情とそれへの対応でございますが、蘇我球技場につきましては、地域の人々が参加しやすいようなイベントを今後も行ってほしいという要望がございました。これにつきましては、昨年、野菜市、あるいは「ひまわりフェスティバル」などの地域の方々が参加できるイベントを行っております。

さらに、今後もよいピッチコンディションを維持してほしいという要望に対して、昨年度に引き続きJリーグから、芝生の状態は良好であったという評価を得ております。

多目的広場につきましては、雨天時のトイレ、通路が汚い、においが臭いということが

ございました。雨天時や利用者の多い日には、通常以外に臨時で清掃を行っております。

また、昨年、QVCマリフィールドで一昨年のシーズン終了後の22年の12月から23年2月にかけて人工芝を張りかえましたが、その古い人工芝を市内のいろいろなスポーツ施設だとか、体育施設、あるいは公園で人工芝を利用しました。もともとスクエアについては、人工芝のフィールドですが、その人工芝の周辺に草地の部分がありました。その部分について、QVCマリフィールドの人工芝を張ってしまいましたので、雨の日、くつの泥で汚れるということが非常に少なくなっております。ただ、どうしてもいろいろなところを歩き回りますので、トイレに泥を持ち込んでしまうこともありますので、これについては、臨時の清掃の回数を増やしております。

(2) 市に寄せられた意見、苦情でございます。これにつきましてはございませんでした。

4の指定管理者による自己評価でございます。

事業計画内容の達成状況・利用者意見の評価ですが、法令や管理運営の基準を遵守し、事業計画に基づき指定管理業務を行うとともに、大会等の利用者のニーズにあわせた施設供用時間外の貸し出しを行うなど、利用者の利便性を高め、好評を得ることができました。また、利用者アンケートは、おおむね良好な結果が得られており、意見等について速やかに改善を行いました。

自主事業では、野菜市等を積極的に行い、市民サービスに努め、収益金の一部を千葉市を通じて被災地へ寄附を行いました。

取り組みにおける評価でございますが、清掃については、職員全体で施設の美化に努め、周辺の地域清掃にも積極的に参加しました。

保安警備業務につきましては、年間28件に及ぶ警備緊急事案に職員で適切に対応いたしました。また、公園部分の事案にも適切に対応し、報告を行っております。

フクダ電子アリーナの球技場とスクエアの周辺の一般公園の部分は、当指定管理者の管理エリアではないのですが、やはり各見回りを行う中でいろいろな施設の点検を行っていただいております。

東日本大震災の対応として節電の工夫に取り組み、自家発電機の有効利用により、夏季における30%のピーク時のカットを実現し、今後も光熱費の削減が期待できる。また、ジェフとともに地震を想定した防災訓練を実施し、職員、関係者の意識・スキルの向上に努めました。

地域の防災にも積極的に取り組み、場長と職員1名は、地域消防団の班長を務め、有事の際、出勤し対応しました。あわせて、地震災害後の利用日程調整や施設の維持管理にも円滑に適切に行っております。

以上でございます。

○副部長 ありがとうございます。

それでは、ただいまの事務局の報告に対しまして、項目ごとにご意見を伺います。

まず、先ほどと同様ですが、指定管理者評価シートの1ページの2の管理運営の実績、それから3ページ3の利用者ニーズ・満足度等の把握、4の指定管理者による自己評価、これらの内容について、ご意見等ございますでしょうか。

○委員 確認をしたいのですが、稼働率の利用可能日数というのは、どのように出されているのでしょうか。

というのは、先ほどに比べて稼働率が低いので、稼働日数の出し方が異なるのかなというふうに思ったのですが。

○公園管理課 稼働率ですが、年間366日のうち、週1回の休場日等がございますが、56日、

芝生の養生期間89日を除きますと、利用可能日が221日になります。そのうち、実際にピッチを使った日が74日ということで、221日分の74日ということで、33%ということになっています。

それで、本来は、さらに使えるのではないかというご意見もあると思いますが、やはり天然芝のピッチであるということ、Jリーグの試合に向けて一番に管理をしていかなければいけないということで、現場が適宜判断して、可能なときには一般利用を入れていくような形にしておるのですが、なかなか毎日使えないということでこのような稼働率になっております。

○公園管理課長 さらに、多目的広場、人工芝のグラウンドでございますが、これにつきましては、7-3の添付資料、事業報告書の添付資料の25ページに利用率の表を作成してございます。7-3は、事業報告書本体とその後ろに添付資料という2段組みになっておりますが、2段組みの後半の25ページでございます。

○委員 球技場ですが、現実的などころで言うと、利用可能日数が少ないということでしょうか。利用する人が少ないのではなくて、現実的には、先ほどの引いたものよりも減らさなくてはいけないというか。

○公園管理課 221日利用することはできますが、現実問題として、一般の方で天然芝のピッチでやりたいというご要望はあるのですが、芝生の生育の状況だとか、そのときそのときの状況に応じて、利用の制限をせざるを得ないということもありますので、現実問題として年間80日前後が限度となっております。

○委員 利用可能日数の考え方の問題ということですか。

○公園管理課 はい。

○委員 日数が少ないという部分が利用したい人たちにきちんと伝わるといいのかなと思います。

それから、自主事業の利用者などが減ったという理由とかご説明をお願いできるでしょうか。

○公園管理課 サッカースクールをやっております。それで、元プロの選手をコーチに迎えて、サッカーを教えているのですが、もちろんサッカーを教わるということも大事なのですが、小学生とか皆さんどちらかというクラブに入ってやっていくという方がどうしても多いものですから、個人競技みたいな、テニスだとか、バドミントンだとか、そういうものをコーチに個別に教わるというよりはチームに入ってやるという方がどうしても多いので、なかなかニーズというかもっと個別に教わることによって上達しますよというようなPRだとか、そういうところが少し足りなかったのかなと考えています。

○公園管理課長 7-3の20ページでございます。

自主事業のほうは、PRも含め、また増やすようにするというのでしょうか。

○公園管理課長 はいそのとおりです。

○委員 私からは以上です。

○副部長 それでは、私から、アンケートのところを確認したいことがあります。3ページの上のところ、アンケート調査の実施内容というのがあって、多目的広場にはボックスを常置しているということですがけれども、回答者数のところを見ると、多目的広場2回となっているので、何か2回集中的にアンケートをとったような、そういうふうにも読みました。これは何かイベントがあったとき集中的に2回とりましたということなのか、それともアンケートボックスの集計を2回したということなのでしょう。

○公園管理課 今、おっしゃられましたように、ボックスと用紙は常に置いてありまして、その集計について上期、下期と2回に分けて集計をしているということでございます。

- 副部長 蘇我球技場のほうの5回というのも時期的に分けているのですか。
- 公園管理課 蘇我球技場のほうは、来場者向けのアンケートをメインでやっておりますので、Jリーグの試合だとか、自主事業の大きなイベントのときにそれぞれ用紙をお配りしましてご回答いただいています。年5回のイベントのときにやっているということでございます。
- 副部長 分かりました。
- それで、蘇我球技場には、利用可能な部屋がありますよね。これも資料だと年間で1万8,000人ぐらい利用者の方がおられるみたいですが、蘇我球技場の場合は、アンケート対象者は観戦者とフィールド利用者だけということですか。部屋の利用についてのアンケートは特にとられていないのですか。
- 公園管理課 それはやっていないです。
- 副部長 そうですか。
- 1万8,000人といったらかなり利用されていると思うので、メインはフィールド利用者だとか、観戦者ということでしょうけれども、諸室もとられたらどうですか。
- 公園管理課 それにつきましては、指定管理者とまた調整して進めたいと思います。
- 副部長 はい。イベントごとにアンケートをとられる場合、そのイベントの内容に影響されて、回答に偏りが出るということもあり得るかもしれません。アンケートを行うに当たり、サンプルの抽出法を工夫して全体のニーズを把握できるようにしていただければと思います。
- 私の意見は以上です。
- それでは、続きまして、4ページの5ですか、市による評価について事務局より報告をお願いします。
- 公園管理課長 5番、市による評価について説明させていただきます。
- まず、履行状況の確認欄からの説明をさせていただきます。
- 履行状況の評価につきましては、先ほどのロッテマリーンズと同じ評価の仕方でございます。
- 確認事項、まず(1)市民の平等な利用の確保、施設の適正な管理につきまして、関係法令等を遵守しているかでございますが、個人情報保護及び情報公開の規定、管理につきましては、個人情報保護管理規程を策定し方針を定め、内部教育等を徹底しております。また、情報の開示請求に対して規程に基づいて適正に対応しておりますので2点でございます。
- 施設利用時の適切な手続きにつきましては、予約から利用完了まで、管理基準の要件に沿い、適切な手続きや料金徴収を行っておりますので、同じく2点でございます。
- モニタリングの考え方。利用者アンケートの実施は、蘇我球技場は年5回、先ほどの質問のことでございますけれども、多目的広場ではカウンターにアンケートを常設しております。年2回に分けて集計し、業務改善に生かしております。
- 指定管理者による自己評価(セルフモニタリング)の実施につきましては、毎月セルフモニタリングを実施し、業務改善に生かしておりますので2点でございます。
- 施設の適正な管理。事業計画書及び事業報告書の内容につきましては、管理運営基準に適合した計画書を作成し、計画に基づく内容を実行して報告書を遅滞なく提出しておりますので、同じく2点でございます。
- (2)市民サービスの向上。
- 利用者サービスの向上でございますが、条例で定める供用日・供用時間の貸し出しについて、大会等の利用者ニーズにあわせ、供用日、あるいは時間外の施設貸し出しを指定管

理者が行っておりますので、この点につきましては評価を3点にしております。

予約システムの管理、昨年度導入しました予約システム、インターネットによる予約申請が可能になるものでございますが、適切に管理しまして、利用者の利便性の向上に努めておりますので2点でございます。

(3) 施設の効用の発揮、施設管理能力でございますが、利用促進の方策としまして、広報・プロモーションの促進につきましては、インターネットの情報更新、施設利用者の施設案内のリーフレットを配付する。あるいは視察や取材の対応等で広報活動を行っておりますので2点でございます。

自主事業の効果的な実施、野菜市、ライフウィズワン、これは愛犬家向けのイベントなどを開催しております。公園の活性化、震災の支援活動の一環として野菜市などのイベントを開催しておりますので2点でございます。

市・関係機関等の連絡調整、定例会の開催、市との定例会を開催したほか、随時連絡調整会議を行っておりますので2点でございます。

利用調整会議の開催、関係機関との利用調整会議を行ったほか、随時利用の調整を行っておりますので2点でございます。

Jリーグ開催における施設管理能力、これは施設・フィールドの維持管理、これはジェフでございますが、ジェフと連絡調整を行い、天然芝のピッチコンディションが良好とのJリーグからの評価を得ておりますので3点でございます。

清掃、計画に基づき適切に行っておりますので2点。

保安警備もクラブと協力し防災訓練を行っておりますので2点。

臨時駐車場の整備・運用でございます。まだ、公園そのものが、整備が終わってないことで駐車場等の整備が終わっておりません。近隣施設への迷惑駐車の問題がございますので、その迷惑駐車防止のため、ジェフと協力しまして公園内に臨時駐車場を整備し、運用しておりますので3点でございます。

緊急・非常時対応でございますが、けが、事故への対応につきましては、適切な対応を行い、市への報告を速やかに行っております。なお、指定管理区域外の公園部分の事案にも適切に対応していただいておりますので、これは3点でございます。

震災後の対応、節電対策でございますが、球技場では試合時における自家発電等の運用を行い、多目的広場では、利用者に支障のない範囲で夜間照明の半灯などを行い、節電に取り組んでおります。これは2点でございます。

(4) 管理経費の縮減。

節減への取り組みとしまして、予算の執行状況でございますが、収入では計画比96.8%、支出では計画比96.2%でございます。特に節電等の各種節約によりまして、事務費の支出を20%抑えたものでございますので2点でございます。

各項目合計が40点、平均2.22点でございます。

4ページの冒頭部に戻ります。市による評価。これはAでございます。

指定管理業務については、事業計画に基づき、Jリーグ開催スタジアムとして十分対応できており、利用者アンケートの内容からも良好な管理状況であると評価できます。また、各種大会等の利用者のニーズにあわせて、施設供用日、時間外の貸し出しを行うなど、利用者サービスの向上が図られました。さらに、震災後の対応としてJリーグの日程変更調整を円滑に行うとともに、試合時の非常用発電機の有効利用等による節電対策を実施し、クラブと防災訓練の徹底に努めるなど、適切な対応を行っております。

自主事業業務につきましては、両施設を主会場とした地域イベントである「ひまわりフェスティバル」を引き続き開催したほか、公園の活性化及び支援活動の一環として新たに

野菜市等の地域イベントを開催しまして、地域密着型スタジアムの定着にも努めております。

これらにより、おおむね事業計画どおりの実績、成果が認められ、管理運営が良好に行われていたと評価しております。

以上でございます。

○副部長 ありがとうございます。

それでは、只今の事務局の報告に対しまして、ご意見ありますでしょうか。

○委員 おおむね良いのではないかとと思いますが、3点になっている4つ、特に後ろのほうの3つですが、計画にはなかったというところで3点になっているという理解でよろしいですか。

○公園管理課長 後半の3つ、まずフィールドの維持管理で芝のピッチコンディションですけども、これはJリーグから非常に良好だという評価を受けたということで、通常以上の管理を努力してくれたということで3点の評価をしております。

あと、駐車場とけが・事故への対応というのは、計画にないことでございましたので、さらに3点の評価をしております。

○委員 臨時駐車場も同じですか。

○公園管理課長 指定管理区域以外の公園の未整備区域に、昨年臨時駐車場を開設しまして、そこを指定管理者として管理して、公園利用者、あるいはサッカー観戦者の便宜を図ったということで3点にいたしました。

○委員 当初の計画では。

○公園管理課長 当初の計画にはありませんでした。

○委員 Jリーグの評価というのは分からないのですが、ものすごくまれということなのでしょうか。よい評価を受けた。どこも大体受けるわけではないということですか。

○公園管理課長 そうです。特段1番とか2番というわけではありませんが、Jリーグの本拠地が現在40か所以上ありますけれども、その中でも平均より上の評価をいただいておりますので、それだけの努力をさせていただいたということで判断させていただきました。

○委員 もう一つ、震災後の対応のところ、これは特別なことだと思いますが、それにいろいろ対応しているのに2点というのは、3点でも良いのではないかなと思いましたがどうでしょうか。計画を越えての実施があるのではないのでしょうか。

○副部長 震災後の対応の節電対策のところですね。

○委員 はい。市としてはもう少しできたのではないかとということなのではないでしょうか。

○公園管理課長 分かりました。QVCマリンでは、この項目を3点に評価して、こちらが2点という評価、少し違うのではないかと意見でございますので、これは3点に評価できるという、今ここで変わって申しわけありませんが、確かに計画にないところを適切に処理しておりましたので、QVCマリンの評価とあわせるということで対応したいと考えております。修正させていただきます。

○委員 副部長のご意見も。

○副部長 そのように変えていただいてよろしいと思います。

先程、稼働率の問題というのがありましたけれども、それはご説明のとおり天然芝の状況だとか、そういう一種の特殊事情があるということでしたが、私の感想としては、施設貸し出し業務などにおいて利用者サービスの向上を図るといった積極的な姿勢が見られていると思います。

あと、自主事業とかも、地域密着という形でよくやられているのではないかなという、そういう印象を持ちました。

私からの意見は以上です。

それでは、先ほどと同じように、次に評価シート5ページの6ですね。都市局指定管理者選定評価委員会の意見について、ここをまとめる必要があります。委員からのこれまでの意見を集約するという形になると思いますが、今一度、何かこの部分についてご意見、ご助言などがあればお願いします。

○委員 おおむね良いかと思えます。ただせっかくですので、自主事業が減っているというところに対しての対応と、それから幾つか評価シートでいうと3点になっている部分も恒常的に好評価になるように努力していただきたいと、要望を加えさせていただければと思います。

○副部長 はい分かりました。

私も、先ほど申し上げたように、利用者サービスの向上といいますか、それに対して積極的な姿勢が見られるということで、管理運営は良好だということでもよろしいと思います。

あとは、自主事業もやられているわけですが、収入実績を見ても少し下がっているというようなことがございますので、今後は自主事業について、さらに成果をあげていってほしいということですかね。

それと、今回3点の評価になった部分ですが、計画以上の実績ということですのでけれども、その実績を恒常的に続けられるようにというご意見をいただきました。この点は私も同意見なので、選定評価委員会の意見というところに入れていただきたいと思えます。

あとは、少し細かいことですがけれども、もう少し幅広くアンケートを採ってほしいということ意見をしておいていただければと思います。

今、意見を整理させていただきましたけれども、具体的な文書については、先ほどと同じように当部会終了後に文言を洗練して、委員全員の合意が得られた後に確定ということにさせていただきたいと思えます。

それでは、最後に、資料7-4、7-5の指定管理者財務諸表から見る当該指定管理者の財務状況についてですが、7-4と7-5をご覧くださいと思います。

共同事業体ということで、株式会社シミズオクトと東洋メンテナンス株式会社の財務諸表が資料としてございます。シミズオクトについてですが、前年度の平成22年度と当年度の平成23年度の損益計算書を比較しますと、最終損益である当期純利益は倍以上増えています。また、本業での利益を意味する営業利益も、3割以上前年度比で伸びており、非常に業績が上がっているという印象ですね。

また、貸借対照表を見てもわかるように、負債の部の合計額が減って、純資産の部の合計額が増えており、資本構成が改善されています。

それから、東洋メンテナンス株式会社についてですが、前年度の12期と当年度の13期との比較で損益計算書を見ますと、最終的な利益である当期純利益が倍増していることがわかります。前年度に比べて売上高が増えていることもありますけれども、それとともに、販管費のようなコストも削減されているので、結果として、利益が大幅に増えているということであると思えます。

次に、貸借対照表をみると、前年度に比べて当年度は負債の額がかなり減っているとともに、資産の額も減っているということですので、規模の縮小が図られていることがわかります。また、貸借対照表をみてわかるように、財務構造も前年度に比べて改善されているようです。さらに、純資産の部のところの利益剰余金の額をみると、内部留保も順調に増えていることがわかります。

以上のように、シミズオクトと東洋メンテナンスですが、両社とも損益の状況と財務の安全性が良好であるという印象を持ちました。

以上で、議題3の千葉市蘇我球技場（フクダ電子アリーナ）及び千葉市蘇我スポーツ公園多目的広場（フクダ電子スクエア）の年度評価を終わります。

それでは、最後に、議題4、千葉市蘇我スポーツ公園庭球場（フクダ電子ヒルスコート）に入ります。

では初めに、事務局より報告をお願いいたします。

○公園管理課長 資料の8-1について説明させていただきます。

まず1ページ目、1、基本情報。

施設名、蘇我スポーツ公園庭球場。

指定管理者、シミズオクト・東洋メンテナンス共同事業体。

指定期間、平成23年4月23日から平成27年3月31日まで。

2、管理運営の実績。

（1）主な実施事業。

①指定管理事業では、施設管理運営業務、フィールドの維持管理業務、設備機器管理業務、清掃業務、保安警備業務でございます。

②自主事業は、飲食・物販業務、テニススクール業務、イベントの企画、誘致業務、予約システムでございます。

（2）利用状況。

①利用者数。これは平成23年度の4月23日からオープンしておりますので、23年度の実績しかございません。23年度4万7,221人、平成23年度の目標値は9万4,907人でありましたので、達成率は49.8%でございます。

②稼働率。平成23年度43.9%、23年の目標値が67.9%でございますので、対目標値増減として24%の減でございます。

次ページでございます。

（3）収支状況。

①収入実績。決算額2,665万6,000円、計画額6,007万6,000円、計画比44.4%でございます。これは、利用料金は、当初見込んだ利用率に満たなかったことによる減でございます。自主事業についても、通年のテニススクール事業を実施できなかったことによるものでございます。

②支出実績。決算額3,400万2,000円、計画額6,249万6,000円、計画比54.4%でございます。事務費につきましては、節電などによる各種節約による減でございます。管理費につきましても、委託費の精査、清掃業務の直営化などによりまして減額を図っております。自主事業につきましては、通年のテニススクールが開催できませんでしたので減額になっております。

（4）指定管理者が行った処分の件数、これは、使用許可件数でございますが6,912件でございます。

（5）市への審査請求、ゼロ件でございます。

（6）情報公開の状況。

監査請求が1件ございました。自動販売機の契約に関することでございます。契約書だとか、収支状況について開示しております。

3、利用者ニーズ・満足度等の把握。

（1）指定管理者が行ったアンケート調査の結果。

①アンケート調査の実施内容でございますが、アンケートボックスを常設しまして、年間を通して利用者意見を収集いたしました。年2回収しまして、回答者数は252件でございます。

質問項目は、先ほどの球技場、多目的施設と同じ項目でございます。

②調査の結果としまして、使いやすさ等については設備面などの要望があるものの、諸室・フィールドの使いやすさ等については良好な評価を得ております。

スタッフの対応としましては、接客対応については、好意的な意見が多かったということで、良好な評価を得ているものと解釈しております。

清掃状況につきましては、新規施設ということもあり良好な評価を得ておりました。

総合的な満足度としましては、設備面などの要望がありますが、管理運営面については良好な評価を得ております。また、来場回数が複数のリピーターが多くなってきたことから、利用者の満足度はあるものと考えております。

③アンケートにより得られた主な意見、苦情、それへの対応についてでございますが、設備面については、駐車場代を安くしてほしい、あるいは無料にしてほしい。施設使用料が高い、公園駐車場の入口を分かりやすくしてほしい。

駐車場代を安くしてほしいということでございますが、1時間100円で、上限が1日1,000円という料金設定でございます。周辺と比べても決して高くないということでございます。

施設使用料が高い、これは砂入り人工芝を使用しました20面のテニスコートを昨年の4月にオープンして新規施設として利用していただいております。この料金設定としては、管理運営に伴う経費については、ここですべて回収すると。市の公共施設の場合、ほかの施設ですともものによってかかるコストの10%、あるいは30%、50%、あるいは100%を利用料金の根拠にすると、それぞれの施設で決めております。ここについては、新たにつくったテニスコートで砂入り人工芝で市民が使いやすい施設を整備したという形でありますので、年間コストの100%を、要するに市の持ち分がゼロ、利用者が100%、年間コストというのは設備というか工事の費用は持ちません。管理運営に伴う指定管理などの費用等でございます。維持管理だとか、そういったものに伴う費用については利用者にとっていただくという形でございます。1枠当たりの料金設定は1,300円に設定しておりますことから、ほかの市内のテニスコート、他の公園のテニスコートと比べると約2倍でございますので、施設使用料が高いというご意見が多くございました。

公園駐車場の入口を分かりやすくしてほしい、これは動線を分かりやすくするため、駐車場内に看板を設置しました。公園駐車場をきちんと整備したもの、あるいは先ほど申しました臨時駐車場等がございますので、そういったものを分かりやすくした、ちょうどこのテニスコートの駐車場のわきを通して臨時駐車場に行くようになっておりますので、そういったことが分かりやすくするように看板を設置しております。

シャトルバスが欲しい、巡回バスを通してほしい。蘇我駅からそう遠くない距離ではございますが、そういった要望がございました。急にバス路線を設置するということではできませんが、土日祝日に運行するバスの時刻表等を管理棟内に提示して利用者の便宜を図っております。

風が強い。ここは蘇我のJFEの跡地で海に近いものですから、海風があります。これにつきましては、周辺をフェンスで囲うほか、将来防風林になる樹木を植えてございます。これが育つまでしばらく防風効果は期待できない部分があります。ただ、実際にテニスができないほどということではないと理解しております。

日影が欲しい。屋根つきベンチが欲しいという要望もございます。まだ木が大きく育っておりませんので、日影がまだできてないことが影響しているものと考えております。

コート内の壁を緑色にしてほしい。コンクリートの打ちっぱなしでございましたので、白いボールなんかですと非常に見づらい。あるいはまぶしいということがありまして、テ

ニスコートの周辺のコンクリートの壁面、これは半地下式になっていまして、周辺より掘り下げたというか、コンクリートの壁の外側に土を盛って観客席にするような形になっておりまして、コンクリートの壁が回りにありますので、その壁につきまして着色をいたしました。

売店を設けてほしいということにつきましては、ここについては、市のほうでは売店は設けませんでした。大規模な大会等につきましては、指定管理者が仮設の売店を設置いたしました。

防球ネットを増やしてほしい。時計を設置してほしいという要望がございまして、管理棟内に時計を設置しております。

あと、(2)市に寄せられた意見、苦情。

これは、今回はゼロ件でございました。

4、指定管理者による自己評価でございます。

事業計画書の達成状況・利用者意見の評価につきましては、法令や管理運営の基準を遵守し、事業計画に基づき指定管理業務を行うとともに、施設予約システムを導入し、利用者の利便性を高め、好評を得ることができました。ただし、施設のオープンが多少遅れたことと、3月の震災の影響もあり、思うように利用率を上げることができませんでした。また、利用者アンケートでは、運営の部分についてはおおむね良好な結果が得られましたが、改修等を必要とするような施設面での指摘も多々あり、今後できる範囲で改善を行っていききたい。

自主事業としましては、4月23日のオープンにあわせて行う予定だったオープニングイベントが震災の関係で延期になりました関係で、7月9日に開催いたしました。また、蘇我球技場や多目的広場で行っているひまわりフェスティバルにおいて、オープンのテニス大会を開催しました。

短期のテニススクールでは、参加者から好評をいただきましたが、季節的な問題もあり、予想を下回る参加者となりました。

今後は、さらなる施設の周知を図るとともに、平日の利用率を伸ばすため、大会等の積極的誘致を行うことにより、利用状況を改善していきたいと考えております。

以上が、指定管理者による自己評価でございます。

○副部長 ありがとうございます。

それでは、ただいまの事務局の報告に対しまして、これまでと同様ですけれども項目ごとに意見を伺います。

まず、指定管理者評価シートの1ページの2、管理運営の実績から、3ページ3、利用者ニーズ・満足度等の把握、4、指定管理者による自己評価、以上の内容について、何かご意見ありましたらお願いします。

○委員 まず初めに利用者数、稼働率、収入などが計画に比べて大分低かったということに関して、その理由をどのように認識されているかということをお願いします。

○公園管理課長 利用者数につきましては、計画の49.8%ということで約半分の達成しかできなかった。あと、稼働率につきましても目標のとおりにはできなかった。これにつきましては、一つには、新規施設として、市も市政だよりだとか、そういった広報媒体にも載せておりますし、指定管理者としても、ホームページ等で載せておりますが、利用者への周知度としては足らなかったものと考えております。

今後、新たな利用者をどのように増やしていくかというのが検討課題になっておりました。今、市と指定管理者の間でどのような方策をとるか協議しておるところでございます。

なお、昨年度中にもこういった施設につきましては、始まる前に大会運営者などと協議

をしまして、優先予約を設ける枠をつくっておりますが、そういったことにつきまして、利用団体をさらに増やすということで、優先枠の拡大をするための協議も始めております。

ただ、まだ知名度等が低かったということと、あと市としまして、やはり新しい施設を周辺の施設と同じ値段にしていまして、逆に周辺施設の利用者が減ってしまいますので、今回は、1,300円と料金設定しました。これは周辺の市町村、あるいは政令市の同様の砂入り人工芝のテニスコートの料金設定を見ましても、2時間1枠でございますが、2,000円代という設定が非常に多い中で、千葉市の場合1,300円でやれるということで料金設定した結果がございますが、既存の施設が610円と、これは既存の施設については、もう古い施設というのがあります、もともと市民サービスを図るということで、できるだけ安くという料金設定がございました。それで23年度からは、その考え方を考えまして、できるだけ利用者負担の原則を貫くということで、急激な変更はできないということもありますが、テニスコートについては、経費の約50%を負担していただいております、610円で運営しております。

やはり、周辺の施設についてはかなり傷んでおりますので、その610円と1,300円が私どもとしては妥当な差だと評価しておりましたけれども、利用者からのアンケートの中では、やはり高いということがございました。有料のスポーツ施設とは利用料金は比較にはならないのですが、数千円単位のテニスコートの利用枠から見ると決して1,300円は高くないというところでスタートしたという経過がございます。

昨年度につきましては、単年度でありますので、大きな変更はしないで、優先予約の会員を増やすとか、そういった対応で整えておりましたけれども、今年度につきましては、指定管理者と調整しまして、きちんとした対応をしていこうということで今協議しております。

方策がかたまり次第、できるだけ利用者に周知徹底を図りたいと考えております。

○委員 最後のところは利用料金の話しですね。

○公園管理課長 はい、料金については、見直しを今検討しているところでございます。

○委員 利用者数というか、稼働率も含めて、利用に関しては前年のデータがないので、計画に比べてどうだったかということになると思います。この先、前年比もある程度問題になっていくと思いますが、あくまで今後の目標指針の部分に基づいていただく方向だということですね。計画が多過ぎたというわけではなく、計画どおりの方向で今後お願いするということですね。

○公園管理課長 目標値に向けて、利用者を増やしていくことを期待してまいります。

○委員 PRについて、やや不足だったのではないかと話がありましたが、実際、利用者アンケートなどで項目に入っているか分からなかったもので、今後のPR作戦を考える上での指標になるものは、アンケートなどでは入ってなかったでしょうか。

どういう情報源で来たかというので、その情報源を強化するとか、ほかの情報源を強化するとか、そういうふうにつながっていくと思います。PRを今後考えるのであれば、そうしたアンケート調査も一つの指標かなと思ったのですが、その辺、どういうPRで利用者が来たかというところはどのように考えられていますか。

○公園管理課長 アンケートに12項目ございまして、先ほど評価シートの中で、性別だとか、どこにお住まいだとか聞いておると説明しましたが、問9番で、本施設を何で知ったかという項目を設けてございます。

資料8-2の33ページでございます。

○委員 どれが多かったとかというのは分かりましたか。

○公園管理課長 申しわけございません。今結果が手元にありません。

○委員 はい分かりました。

PRに関しては、指定管理者がする部分と市がする部分と両方当然入ってきています。実際、両者でやらなければいけないところなので、十分にやれるようお願いしたいと思います。

利用料金に関してですが、市民かどうかとか、そのラインで変化をつけるとかはないのでしょうか。

○公園管理課長 千葉市の場合は、一応市民、県民で料金の差は設けておりません。これは、政令市であるということと、もう一つは、国の補助金をいただいて施設整備を行っておりますので、市民のみという偏った料金にはしづらいということがございますので、市県民に平等に利用していただくという、これはこの施設だけでなく、全体的にそういった方針でスポーツ施設については行っております。

○委員 分かりました。

○副部長 それでは、私から、2つ確認したいことがあります。

自主事業の部分についてですが、収入実績を見て分かるように、計画額と決算額でかなり開きがあります。この理由は、テニススクール事業を実施できなかったことによるものですね。後ろの資料を見ますと、テニススクール事業が始まったのは23年12月からとなっておりますけれども、これは年度初めから周知をしたが、参加者が集まらなかったということなのか。

○公園管理課 これに関しては、当初の事業計画では、通年、ヒルスコートがオープンしてからテニススクールを順次やっていくという計画でしたが、その中身についていろいろ調整とか、具体的な計画、市との指定管理者の調整、指定管理者の中での調整等がなかなかうまく進みませんで、実際に始めたのは12月からだったということで、まずやっている期間が短いということと、12月に始めたのですが、やはり屋外のコートで寒いということもあって、どうせ行くなれば民間の室内のところがいいとか、周知の部分を含め、そういう環境的な部分とあわせて人数が少なくなってしまうということがございます。

○副部長 24年4月以降、現時点で3、4か月たっていますが、今、テニススクールは行われているのでしょうか。

○公園管理課 今もやっております。

○副部長 4月以降されているということですね。

○公園管理課 はい。それについても、もちろん利用者はいらっしゃるのですが、先程の委員が言われた周知というのが今まで私ども市役所だとか、指定管理者が考えている周知の方法だけではどうもだめだろうと。いわゆる市政だよりだとか、ホームページだけではだめだろうということも少しずつ分かってきましたので、その辺は利用者の声を聞きながら、どういうところに出したらより伝わるだろうということで、指定管理者によって計画というか、戦略を今考えて新たな方法を考えながらやろうということで進めています。何とか早く結果が出るようにはしたいとは考えています。

○副部長 はい分かりました。ありがとうございました。

それから、細かい数字に関する事で、私の見落としがあるのかもしれませんが、収支状況の計画額の利用料金が、3万4,221という数字になっています。他方、8-2の事業計画書の35ページにある収支予算書のところを見ると、市からの委託料の数字は収支状況の計画額と一致していますが、その下の利用料金収入は事業計画書のほうだと3万1,884になっていますよね。

○公園管理課長 8-3の資料の16ページでは。

○副部長 計画額だから。

○公園管理課長 計画額のほうですか。

○副部長 ええ。8-2の最後のところでいいのですよね。

その下の人件費というところの数字も、少し違っているのですけれども。

○公園管理課長 すみません。今、確認させております。

○副部長 はい。

細かいことですが、資料を拝見していて疑問に思いましたので確認させていただきました。

それでは、先に進めさせていただきます。

続きまして、4ページの5の市による評価について、事務局より報告をお願いいたします。

○公園管理課長 4ページの、市による評価について説明させていただきます。

ここも履行状況の確認から説明させていただきます。

(1) 市民の平等な利用の確保、施設の適正な管理、関係法令等を遵守、個人情報保護及び情報公開の規定・管理でございますが、関連法令を遵守し、個人情報保護管理規程を策定し方針を定め、内部教育等で徹底を図った。また、情報の開示請求に対して規程に基づき適切に対応したということで2点でございます。

施設利用時の適切な手続、これは予約から利用完了まで、管理基準の要件に沿い、適切な手続や料金徴収を行っておりますので2点でございます。

モニタリングの考え方、利用者アンケートの実施、カウンターに常設して要望、苦情を年2回に集計し、業務改善に生かしたということで2点でございます。

指定管理者による自己評価（セルフモニタリング）でございますが、毎月セルフモニタリングを実施し、業務改善に生かしておりますので2点でございます。

施設の適正な管理、事業計画書及び事業報告書の内容、管理運営基準に適合した計画書を作成し、計画に基づく内容を実行した報告書を遅滞なく提出しておりますので2点でございます。

(2) 市民サービスの向上。

利用者サービスの向上、条例で定める供用時間外の貸し出し、これは大会の利用者のニーズにあわせて、供用時間外の施設貸し出しを行っておりますので3点という評価でございます。

予約システムの管理、これは、予約システムを導入しまして、適切に管理し、利用者の利便性の向上に努めておりますので2点でございます。

(3) 施設の効用の発揮、施設管理能力、施設の利用促進の方策でございますが、広報・プロモーションの促進につきましては、今年度につきましては、先ほどの内容でございますけれども、インターネットの情報の更新、施設利用者のリーフレットの作成を行ったものの、利用促進による効果が上がらなかったということで1点でございます。

平日の利用率の向上、利用率が目標値67.9%を達成できず、特に平日の利用が低調でありました。平日が21.8%、土日祝日については83.5%でございます。評価としては1点でございます。

自主事業の効果的な実施、オープニングイベント、テニス大会等の実施、これにつきましては、蘇我球技場等と連携したひまわりフェスティバルにおいて、テニス大会を実施しておりますので、2点でございます。

市・関係機関等の連絡調整、定例会の開催、市との定例会を開催したほか、随時連絡調整を行っておりますので2点でございます。

利用調整会議の開催、関係機関との利用調整会議を行ったほか、随時利用前後の連絡調

整を行っておりますので2点でございます。

施設等の維持管理、施設、フィールドの維持管理、状況に応じた作業を行い、人工芝及び周辺芝の管理を適切に行っておりますので2点でございます。

清掃、計画に基づき適切に行っておりますので同じく2点。

保安警備につきましても、計画に基づき適切に行っておりますので2点という評価でございます。

緊急・非常時対応、けが、事故等への対応は、適切な対応を行い、市への報告も速やかに行っているため2点でございます。

震災後の対応、ここは事務室等の電灯につきましては一部制限して節電に取り組んでいるということで2点でございます。

(4) 管理経費の縮減でございます。

縮減への取り組みは、予算の執行状況ということで、当初見込んだ利用率に満たなかったこと等による収入減に応じまして、事務費、管理費等の各種支出を抑え対応したということで2点でございます。

合計35点で、平均1.94でございます。

市による評価でございますが、Bでございます。

指定管理業務については、予約システムを導入したほか、大会等の利用者のニーズにあわせて、施設供用時間外の貸し出しを行うなど、利用者の利便性、サービス向上が図られたこと。また、利用者アンケートの内容からも、非常に良好な管理状況であると評価できる。ただし、利用状況については、当初見込んだ利用率が達成できず、特に平日の利用率が低調であったことから、施設のPRや自主事業の拡充など、平日の利用者を誘致し、利用率を向上させるため、早急な改善を求めるものである。

自主事業業務については、オープニングイベントを開催したほか、蘇我球技場等と連携した地域イベント「ひまわりフェスティバル」において、テニス大会を行い、参加者の好評を得た。

ただし、通年のテニススクールを実施できなかったなど、収支状況の改善を図る必要があるということでございます。

以上でございます。

○副部長 ありがとうございます。

それでは、ただいまの事務局の報告につきまして、ご意見等ございますでしょうか。

○委員 市の評価に賛成というか、B評価でやむを得ないのではないかなと思っています。

もう一つ、この表のところの一番左の枠で、下位項目で、2段目の項目の立て方がよく分からない部分がありまして、自主事業の効果的な実施にオープニングイベント、テニス大会なども実施で2とあります。オープニングイベントが遅れたことに関してはやむを得ないと思いますので、この項目自体が2点というのは同意しますが、自主事業自体がスクールとかが思うようにできなかったというのがあるにもかかわらず、自主事業の実施が2点というところだけになっているのは、その部分の勧誘が足りないかなという気がしました。項目をどういじったらいいのかが分からないのですが、最初の冒頭部のところにも入っていますが、昨年度に関しては、自主事業としてのテニススクールを実施できなかったというところに対しての評価はすべきではないかなと思いました。

○副部長 はい。

これに関してはいかがですか。

○公園管理課長 オープニングイベントとテニス大会等の両方に評価しております関係で2点としております。

オープニングイベントにつきましては、いろいろと指定管理者が工夫しまして、実際には、オープニングにあわせてできなかったのですが、非常に努力をした評価がありまして、それは3点に近いものがあつたのではないかと考えておりますが、テニス大会の、先ほども言いましたように、年間通した長期のテニススクールだとか、あるいはここはテニススクールではなくてテニス大会のほうですけども、「ひまわりフェスティバル」のテニス大会等の実施でございますので、これはうちのほうは2点という評価でございます。

○委員 そのこのところは、自主事業の実施というところではスクールができなかったというところがあるのですが、表の中に反映されていないので、そこは厳しく評価として残しておくべきではないかなと思います。小項目を立てられるのか、この項目に関して分からないのですが。

○公園管理課長 この項目につきましては、次年度以降、2項目にするような形に変えていきたいと思っております。

今年度については、このような評価にできないかなと思っております。

○委員 この表はもういじれないのですね。

○公園管理課長 はい。

○委員 そのこの部分をコメントに入れていただきたいという意見をお願いします。表に関しての要望も、可能であればお願いします。

○副部長 私としまして、やはり利用実績が目標に達しておらず、かなり開きがあるので、管理運営に関して改善を要する事項があつたというB評価になるのはやむを得ないかなと思います。特に、1点の部分への対応ということ、すなわち、利用促進を図ることがこちらの施設に関しては、緊急の課題だということに尽きるのではないかなと思います。

以上で、6のところ、都市局指定管理者選定評価委員会の意見ですけども、そちらに関しても、よろしいですか。

管理運営に関して改善を要する事項があつたということで、利用促進の方策を今後緊急に考えていただきたいということでよろしいのではないかなと思います。

それでは、意見の整理の仕方については、項目ごとにいただいたご意見をまとめ、部会の意見とするということで、これは先ほどと同様です。

この評価シートに記載する具体的な文章についても、洗練された形での記載を考えると、これも先ほどと同様です。

それでは、以上で、本日の議事はすべて終了いたしました。

これをもちまして、平成24年度第1回千葉市都市局指定管理者選定評価委員会スポーツ部会を閉会します。

それでは、事務局にお返しします。

○公園緑地部長 公園緑地部長の岡田でございます。

本日は長時間にわたりまして慎重なご審議いただきましてまことにありがとうございます。ちょうだいいたしましたご意見を踏まえまして、より適正な施設管理の運営、あるいはさらなる市民サービスの向上に努めてまいりますので、今後ともよろしく願いいたします。

本日はどうもありがとうございました。